

国土交通省 令和元年度第2回
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型) 採択プロジェクト

石黒建設株式会社 新社屋建築における省CO₂先導事業

提案者
石黒建設株式会社

創業82年を迎え、名古屋市の地場建設会社として
近隣住民の方々に社会貢献をしたい
創業100年に向かって社員が誇れる新社屋にしたい

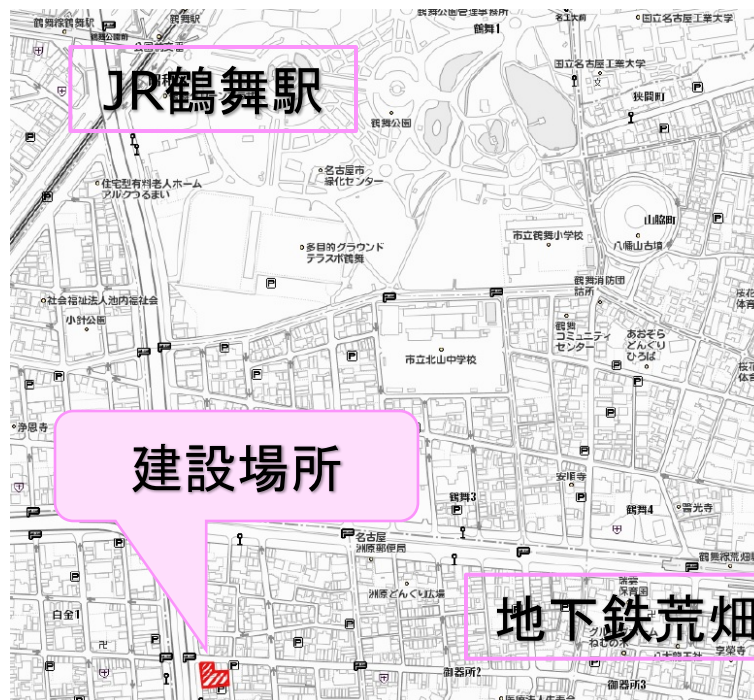
自然エネルギー、省エネ技術の採用

BCPに対応した事務所ビル

社員のモチベーションアップ



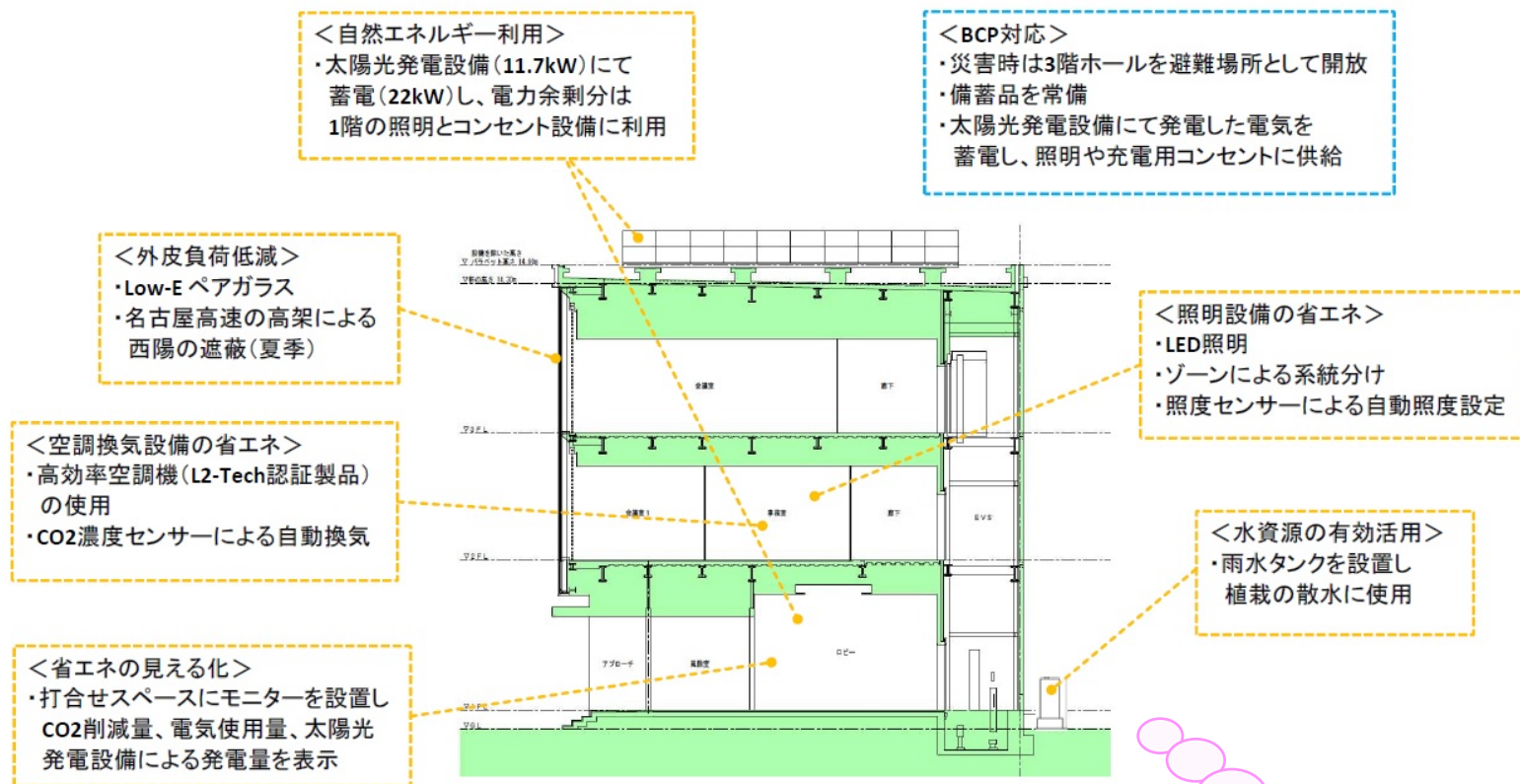
未来を見据えた”省エネビル”





建設場所	名古屋市昭和区御器所一丁目
用途	事務所
構造	鉄骨造 3階建
敷地面積	928.03 m ²
建築面積	450.47 m ²
延べ面積	1,284.34 m ²





建設場所を選ばず、汎用性の高い技術をまとめて採用することで、省エネを実現

❖ 照明設備の省エネ

LED照明の採用
照度センサーの設置
執務ゾーン毎に照明系統を分ける



1.9ton/年のCO₂削減

❖ 空調・換気設備の省エネ

高効率空調機（L2-Tech認証製品）の採用
ロスナイ換気扇の採用
CO₂濃度センサーによる自動換気



0.3ton/年のCO₂削減

❖ 電動機の省エネ

高効率モーターエレベーターの採用
直圧式給水方式の採用



0.6ton/年のCO₂削減

❖ 水資源の再利用

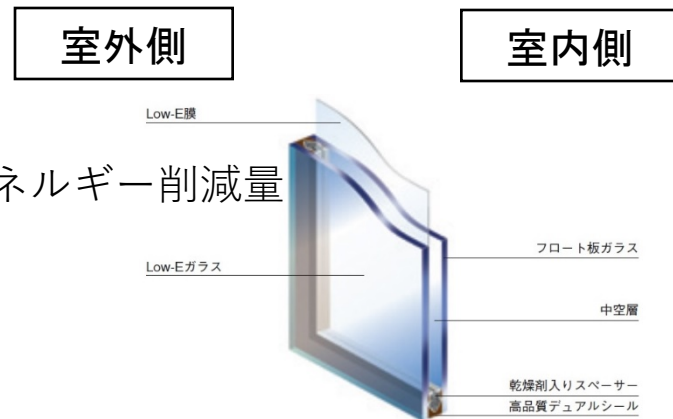
雨水タンクを設置し、植栽の散水に活用



約1ヶ月分の散水量を賄う

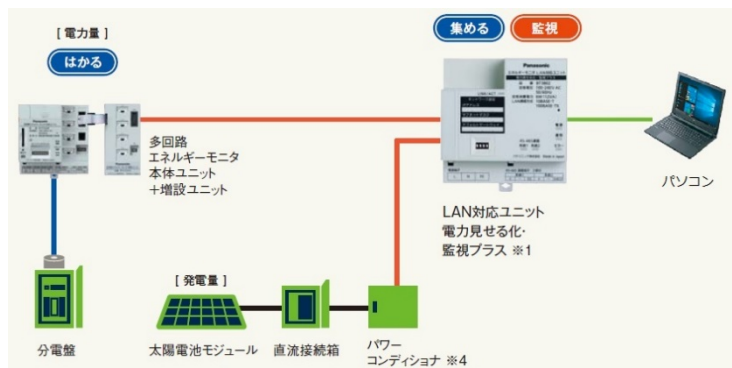
❖外皮の空調負荷低減

Low-Eガラスの採用 ➡ 436MJ/年の一次エネルギー削減量
名古屋高速の高架による西陽の遮蔽(夏季)



❖省エネ・省CO₂の見える化

エネルギー計測データを収集し
使用電力量、太陽光発電量、CO₂削減量を表示



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



災害時の社員の安全確保
近隣住民の方々への社会貢献



新社屋を指定避難所に

=

石黒建設のSDGs

備蓄品を常備

災害時 3階ホールを避難所として開放(収容人員100名)

太陽光発電設備・蓄電池の設置

一次エネルギー削減量

BEIm = 0.59

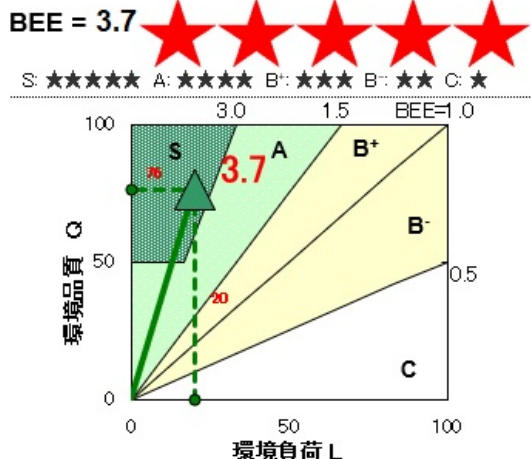
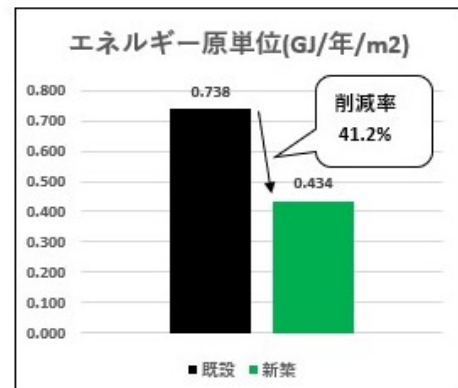
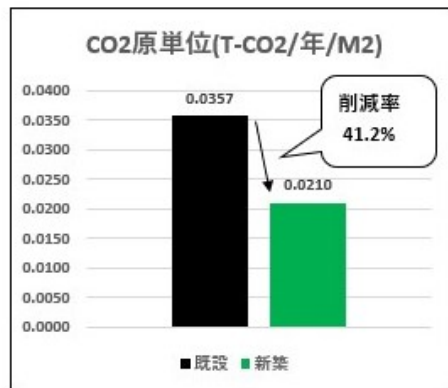
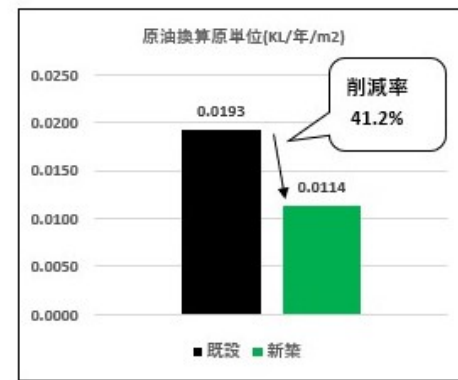
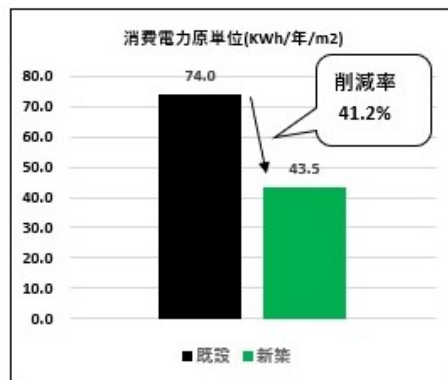
BELS ☆☆☆☆☆

環境効率評価

CASBEE Sランク

(自己評価のため、今後第三者認証を取得)

CO2削減率：41.2% (既存社屋と新社屋で比較)



汎用性が高く取り入れやすい技術をまとめて採用することで
省エネ・省CO₂ビルとなることをアピールしていく

❖波及・普及に向けた取り組み

- ・ 様々な業種と協同して事業を進める建設業の強みを活かし
新社屋の見学会を実施
- ・ 数多くの営業機会を通じたPR
- ・ 自社ホームページへの掲載
- ・ CASBEE・BELSの評価書やプレートを設置

ご清聴ありがとうございました